香美市文芸

# 風の流れ

◆一般投稿作品◆

岡崎桜雲　選

いくつもの縁（えにし）を結ぶ冬銀河　山﨑　貴子
ありがたく日々を送りて師走かな　荒木　景子
手のひらに受けてひとひら雪の花　中村　定子
笑点をテレビで見ては初笑い　岡本　初美
鴨の群急な寒波に声潜む　五百蔵利美
山陰に集落ぽつり寒の雨　原　茂
虫の音や電話二時間宵の口　伊藤　清子
福寿草咲きしが見ゆる休憩所　利根　弘子
土佐凧のチモトの位置のむつかしく　明石　韮生
正月や何色出るか九十九路（つくもみち）　西野地　薫
柚子風呂に三度も入りてよき気分　畠山　千江
帰り道豊年柿に家ごとかな　山﨑　寿美
木守柿ありし生家や昭和恋ふ　坂元　道子
雨雲の近づく先の月滲（にじ）む　秋　星
重なりし尾根の襞（ひだ）ごと霧昇る　井上　佐和
豪華さを誇りし家も草いきれ　東　月
風にゆれ金色に染む稲穂かな　溝渕　龍泉
父の畑に爪痕残し台風過　吉川　恵樹
初春や弟子はつなぎて江戸小紋　小松　美鶴
農の手を休め粧（よそお）ふ山仰ぐ　秋山　英身
山百合やどこまで伸びる線路沿い　茂野　光正
秋の雲女心か男かも　原　恭子
おほかたは蕾（つぼみ）鎮守の寒椿　大場比奈子

◆かほく俳句会◆

星々の綺羅を研ぎ出し寒波来る　乾　真紀子
仏前に木の実を供へ語りかけ　岡本　敏子
過疎の里一人ぽつちの日向ぼこ　小松　昇
永らへてアロマセラピー霜夜なる　佐竹　洋子
陽のさして色極まれり冬紅葉　杉山　春萌
隔離され独り飯食ふ寒さかな　津田吾燈人
十五歩で行ける日暮れの冬田まで　野村　里史
歯科の椅子金属音の冴え返る　古川　信子
目薬も一滴で足る冬日差し　前田　智
雪を疎（う）み雪に恋して北に住む　宮崎ただし
今の世へ添へぬ齢（よわい）や冬菜畑　宗石　愛喜
えもいへぬ生木の香り年木（としぎ）積む　森本　之子
奥山は鈍色（にびいろ）に消え初時雨　山崎かずみ
老二人里に聖夜の星降れり　山﨑　鈴子
冬空に皆既月食魅せられて　山中　明石

## 今月のキラリ

広報委員会

**手のひらに受けてひとひら雪の花**

去年の十二月二十四日高知市にも雪が降り、観測史上初の十四センチの積雪であった。高知市に比べ香美市は少し積った程度だった。ひらひらと花のように舞う雪をひとひら手のひらで受けている作者。雪の結晶もまた花のよう。しかし、すぐ、その雪の花は溶けキラキラと水滴となる。儚（はかな）く美しい一句。

**木守柿ありし生家や昭和恋ふ**

初冬のある日、夕陽のように赤い木守柿（収穫の後に、一つだけ木に残しておく柿の実をいう。翌年の実りへの祈りからとも、あるいは小鳥のために残しておくともいわれる）を作者は目にし、懐かしく生家を思い出した。生まれ育った家の庭にも柿の木があり、そこでの生活を、また、昭和、平成、令和時代の出来事、特に子供時代の昭和を恋う作者。郷愁を誘う余情豊かな一句。

### 俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）
FAX 53・5958



# アーティストブック展

## ―本の可能性を探る―

新図書館開館記念関連企画

２月４日（土）～３月１９日（日）

休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)

【関連企画】館長または学芸員による作品解説：会期中毎週日曜14時～

本展は、新図書館が開館したことを記念して、美術の観点から本づくりの面白さや多様性を示し、本という形態の可能性を展開するものです。

美術作品の中には、さまざまな本の形の作品があり、１枚の絵では語りつくせない深い内容が積み重なり、作品としての本が制作されています。そうした本の数々をアーティストの皆さんに協力していただいて展示する企画です。図書館にある本とは一味違う美術館ならではの本の数々を楽しんでいただきたいと思います。

（館長　都築房子）

▲玉木かつこ

▲森田優子

▲にしおゆき

香美市森林環境税活用事業　申し込みいただいた方からの投稿を募集しています！！

# かみんぐBABY木のギフト

**『木のギフト』お便り紹介**

**岡村 祐弦 くん**

ギフトを開けた瞬間から木の香りで、頂いてからしばらく経ってもいい匂いが続いています。

最近は積み木を重ねることができるようになり、夢中で重ねて、倒して、楽しんでいます。ケースへ片付ける時に工夫をしないとキッチリ入らないですが、私たちが考えながら片付けして、そこもまた楽しませてもらっています。

※香美市から木のギフトを受け取られた皆さんからのご感想、写真を募集しています。

投稿者の氏名、写真、写真に映っている方の名前(ペンネームで構いません)、感想を、下記メールアドレスまでお送りください。

『ぷらっとホームMoku』のご協力により、南国市十市パークタウン内で木のギフトを手に取ってご覧いただけるようになりました。

←場所等はこちらをご覧ください

香美市の赤ちゃんに『木のギフト』をプレゼントしています。詳しくは、新生児訪問の際にお渡しするパンフレットまたは、香美市ホームページ内の特設ページをご覧ください。

【問い合わせ先】農林課林政班　☎52－9283　Ｅrinsei@city.kami.lg.jp